

フレスポ飛騨高山の11周年行事として、熱気球搭乗体験会を実施。100名限定のところ、300名を超える問い合わせと応募がありました。当日は快晴！天候に左右されやすい企画でしたが、当選したすべての方に楽しんでいただくことができました。早朝の実施にも関わらず多くの人が見学に訪れ、気球の浮上とともに歓声も響いていました。

同日開催したHIDA OUTDOOR FREAKS実行委員会によ

熱気球搭乗体験
開催日：2023年9月24日(日) 6:00~8:00
場所：フレスポ飛騨高山駐車場 来場者：176名
主催：フレスポ飛騨高山11周年祭実行委員会
協力：一般社団法人おっぱら夢組合

るイベントでは、クライミング、林業機械の操縦などの体験、ウグイの試食や森林浴・燻製・薪割り体験などがあり、フレスポ飛騨高山がニッチでマニアックなアドベンチャーワールドとなる1日でした。

HIDA OUTDOOR FREAKS
開催日：2023年9月24日(日) 10:00~16:00
場所：フレスポ飛騨高山駐車場・まちスポ飛騨高山
来場者：1,083名
主催：HIDA OUTDOOR FREAKS実行委員会

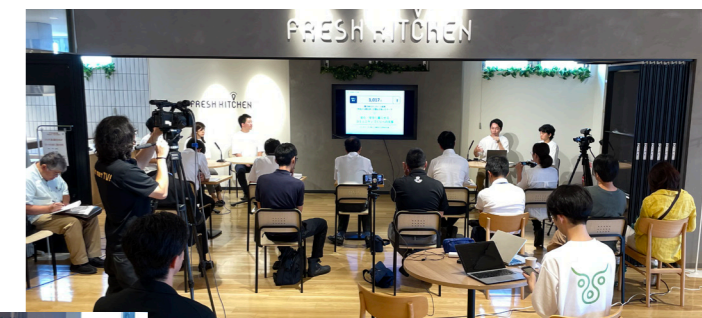


まちスポ飛騨高山

ひだ財団設立記者会見

2021年度から始まった飛騨コミュニティ財団設立準備事業。全国コミュニティ財団からの助成期間の最終年度となり、いよいよ大詰めを迎えています。2023年8月22日付で「一般財団法人ひだ財団」を設立しました。

設立寄付・賛同者署名をいただいた皆さま、そして日々この活動を応援いただいている方々へ、事業を始められる感謝と設立のご報告、今後の展望をお伝えしたいと9月に記者会見を実施しました。飛騨地域の未来を担う挑戦者への資金提供・活動伴走を行っていきます。応援よろしくお願いします。



日時：2023年9月12日(火)11:00~10:00
会場：駿河屋アスモ店2階FRESH KITCHEN
主催：ひだ財団
参加者：15名(メディア8社、一般7名)

まちスポとやま

とやまし元気づくりプロジェクト2023 第3回ブラとやまー速星・鵜坂コースー

散策を楽しみながら、先人たちの暮らしの痕跡と今を生きる知恵に出会うお散歩旅「ブラとやま」。9月は旧婦中町へ。中心部の速星地区は、東に神通川、西に井田川二つの大きな川に挟まれた地域のため水害が絶えず「田を速く干す」という説を今も地名に残しています。この地域は人口が大幅に増加し、今でも増加傾向に。急速に人口が増加して発展してきた背景を、地域の水との関わりを中心に地形や歴史から紐解き、さらに今後を想像しながらキーとなる場所をめぐる。まだ暑さの残る中でしたが、参加者同士情報共有しながらの充実した時間となりました。



開催日：2023年9月23日(土・祝) 9:30~11:30
場所：富山市婦中町 参加者：14名+ガイド・スタッフ6名
主催：富山市福祉政策課
認定NPO法人まちづくりスポット まちスポとやま



やっと涼しくなってきました
中川



家族みんなで夏風邪、へろへろです~
倉本



ファッションが楽しくなる秋！
野中

最新の情報はこちら
ホームページ更新中
http://machispo.org

さるぼぼコイン
クレジットカードでの
賛助会員入会が
可能になりました！
詳しくはこちらをご覧ください

活動を応援して下さる方を募集しています。
個人年会費 1口 ¥3,000
法人年会費 1口 ¥5,000

納入先
郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット

note
ホームページのほか、noteやSNSも随時更新中。ぜひご覧ください

ひだっち blog
https://www.machispo-toyama.org

まちスポとやま
https://www.machispo-toyama.org

まちスポ飛騨高山

第7回ワーキングホリデー in 飛騨高山

繁忙期のトマト農家で大学生がインターシップに取り組む「ワーキングホリデーin飛騨高山」。第7回目を迎えた今年度は27名の大学生が参加されました。

参加者の中には昨年度参加した学生や、参加後に違うクールで再度参加する学生など、リピート参加される学生がいるほど魅力的なインターシップになったようです。例年に比べて酷暑が続いたインターシップ期間でしたが、受け入れ農家や地元の民宿の協力のもと無事に全クールを開催することができました。参加した学生からは「収穫や誘引作業などをさせていただき農業の大変

さ、楽しさを全身で体験することができた。」「農家さんの生の声を聴くことができ、実際に見ることによって、大学の講義で勉強したことについて理解がより深まりました。」という感想をいただきました。



受入れ農家：4農家
受入れ期間：
2023年7月24日(月)~9月25日(月)
(期間内で9泊10日)
参加学生：8大学27名

まちスポ飛騨高山

飛騨観考-森林サービス産業- 意見交流会 @飛騨清見

ひだ清見観光協会からの相談を受け、意見交流会を開催しました。会の始めにひだ清見観光協会から、飛騨清見地域で行っている北欧を参考にした活動や、実際にフィンランドを訪問した際の話をお聞きました。それを受けて、参加者同士で森林の思い出や良さを話さず、自然体験が身近になるためには「山に入る用事があると良いのではないか」というキーワードが出ました。その用事をどう作るか、さらにウッドフォーラムをどのように活用していきたいか、意見交換。同日同会場の芝生広場で

は、Yeah!chairによる「チェアリング」イベントが開かれ、若者の活気に満ちており、今後の飛騨清見地域の発展が楽しみになる1日でした。



開催日：2023年9月17日(日)14:00~
場所：ウッドフォーラム飛騨 参加者：9名
主催：認定NPO法人まちづくりスポット
共催：ひだ清見観光協会





花ぶらす木／花・SOU
代表

おく 奥 いくこ 育子さん

地球にも人にも優しい「花育」を

花ぶらす木は、花・プラスチック・木を専門とする富山の企業が「ワンチーム」となり、ガーデニングを通したSDGs普及事業として、エコな製品づくりや植物を取り入れた心地よい暮らしの提案を行うプロジェクトです。そのメンバーの一人、『花・sou』の代表としてハンギングバスケット※1、カラーサンド教室※2などさまざまな取り組みをしている奥さん。多くの方々に「花育」を楽しんでもらいたいと日々活動中です。

※1ハンギングバスケット…吊るすなどして空間に飾る寄せ植えのこと
※2カラーサンド…鉱物や大理石を細かく砕き色をつけた砂のこと

一人の課題から アイデア商品の開発へ

「花・sou」は話をしようという意味で、たくさんの人々が話をできる場所を作りたい奥さんが仲間と夢を描いたお店。花を通してお客さんと話したり笑顔でいられたりしていることにやりがいを感じているそうです。

コロナ禍で人々の収入が減少した影響で、奥さんが主宰する教室の中にも通うことが難しくなった方がいました。「千円や2千円で通える教室があったらいいのに…そんな教室できませんか?」という要望からできたものが「フラポット」です。これまで、日本の会社で製作しているハンギングバスケットは容器がとても大きく高価なものばかりでした。「その値段では難しいです」と伝えた後も奥さんはずっともやもやしていたそうです。お金がないとお花を楽しめないのかという悔しい思いから友人に相談したところ、それはやらないといけなと言われてたそうで、助成金等も活用しながらフラポットを考案・開発しました。

エコ活動へ進化! エコフラポット

フラポットを使った花育の教室を進める中、今度は友人のプラスチック会社でペットボトルキャップが大量に余っているという課題がわかりました。

その課題を解決しようとできたものが「エコフラポット」です。現在のペットボトルキャップは1つのキャップに2種類のプラ

スチックを使用しており分別が不可能です。キャップの価値が下がり回収業者でのリサイクルが衰退していました。そのため会社の倉庫に大量のペットボトルキャップが余りました。その課題を解決するために、100%ペットボトルキャップを使用したフラポットを友人たちと考案しました。そして、クラウドファンディングのもと、224人の方々から166万円の支援を受け、「エコフラポット」が製作されました。

奥さんの大切にしていることと 目指す社会

エコフラポットが誕生した2022年10月から現在まで、エコフラポットを使ったワークショップ「花育」には500人を越える参加があり、富山県内のみならず長崎県、石川県や東京都でも開催しています。

奥さんが「花育」で大切にしていることは多様性。ワークショップをする時でも作業が早い人やゆっくり作る人、色を選ぶのに多くの時間をかける人、とそれぞれ違う参加者がいます。そんな時も、人を比べず、それぞれの気持ちや行動を尊重することを心掛けています。

エコフラポットを通した「花育」は、認知症予防にもなり、子どもから大人まで誰でも簡単に始めることができます。人にも地球にも優しいエコフラポットの活動を世界に広げていきたいと夢を語ってくださいました。

(まちスポとやま・インターン生 高瀬胡羽)

とやまし元気づくりプロジェクト2023

11月3日(金・祝)・7日(火)
10時～12時

目指せ!花育マイスター～エコフラポットを使って
お花のワークショップを開けるようになってみよう～

場所:総曲輪レガートスクエア ギャザリングスペース・ギャラリー(富山市総曲輪4丁目4-3)
参加費:2,000円(生花、ポット材料費) 参加人数:各回5名まで(親子参加もOK!)
申込先: <https://hana-sou.jp/contact/> ※3日、7日とも同じ内容です。
※お車でお越しの際は、総曲輪レガートスクエア立体駐車場「Dパーキング」をご利用ください。



第20回スキマ研究会 「みんなの選択 ～骨髄バンクについて～」

今回で20回目になるスキマ研究会。骨髄バンクをテーマに「飛騨骨髄献血希望者を募る会」の平和民さんにスキマ案内人として団体での活動やご自身が骨髄ドナーを受けた実体験のお話をいただきました。

会場には、「岐阜県骨髄献血希望者を募る会」代表であり、今年で30周年を迎える日本骨髄バンクにおいて日本で初めて骨髄提供をした田中重勝さんが足を運んでくださり、貴重なお話を伺うことができました。当事者の方や、ボランティア活動を長年している方、ドナー登録をした方、

まだピンときいていない方、様々な視点で「骨髄バンク」を考えるきっかけになりました。



日時:2023年9月23日(土) 19:00～
会場:まちスポ飛騨高山 参加者:15名

企業×外国人防災

飛騨地域で暮らす外国人のために

飛騨地域で暮らす外国人の方のために日本語教師による日本語教育と、有事の際に身を守れるように防災士による防災教育を合わせた教室を事業所に出向き、行っております。第2回目の9月27日(水)は、高山市内にある英会話スクールLet's高山さんの協力のもと1年前から英会話講師として働くコロンビア出身の2名が受講してくれました。

今回の講師は、日本語教師と防災士の資格を持つ高山市内在住の都竹さんが勤められました。日本語教師として対面では初めての授業とのことで緊張しながらもとても楽しんで教えられる姿が印象的でした。日本にはどんな災害があるか学び、その時どうするか?何を準備しておいた

らいいかも考えました。参加してくれた2人からは、「素晴らしい授業で、災害への備えについて多くのことを学びました」との感想もいただきました。

飛騨地域に暮らす外国人が安心して生活することができるよう一緒に取り組みませんか? お気軽にお問合せください。



日時:2023年9月27日(水) 13:30～14:30
会場:英会話スクールLet's高山
参加者:2名 主催:認定NPO法人まちづくりスポット

インターンシップの受け入れ

インターンシップナビとやまでもまちスポとやまの夏のインターン募集をみて、新しい体験やいろんな世代の人と交流したくて応募しました。

10日間のインターンシップを経験して、多くのことを勉強させていただきました。プラとやまに同行・参加させてもらったり、いろんな活動をしている人のインタビュー取材や、その原稿作成、外国人生徒と関わる機会もあり、普段経験できないことができたと思います。毎日がとても新鮮で楽しく仕事ことができました。この経験をこれから社会で活かしていきたいです。



■インターン期間■
2023年8月19日～
9月23日(うち10日間)

Takase Kohane

高瀬胡羽

富山短期大学 経営情報学科
1年生

